「保険で良い歯科医療を」全国連絡会
第14回総会

■2016年10月29日（土）14:00-16:30

■東京都渋谷区／NOF新宿南口ビル4Fセミナールーム

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会
第14回総会

10月29日、全国連絡会第14回総会が都内で開催しました。総会には、千葉、東京、長野、愛知、大阪、兵庫、大分の7都府県の連絡会をはじめ、全国から39名が参加しました。

総会では、宇佐美宏さん（全国保険医団体連合会歯科代表）が開会挨拶、雨松真希人さん（歯科技工士）が前回総会以降の活動と今後の活動方針について報告、提案を行いました。

その後、各地での連絡会づくりを推進するために、7都府県の連絡会より各地での活動の紹介、工夫などの報告がありました。また、この間、「保険でよい歯科署名」を1千筆以上集めたり、地元自治体で県内で初めて「矯正治療の保険拡充を求める意見書の採択」へと繋げた山梨県の患者さんより取り組みが紹介されました。

総会では、新たな歯科国会請願署名に50万筆を目標に取り組むこと、連絡会の結成、意見書採択、歯科技工問題などを推進するとした活動方針が確認されました。

また、総会では、新会長に歯科技工士の雨松真希人氏を選出しました。

当日の様子

開会挨拶をおこなう
保団連
宇佐美宏歯科代表

新会長に選出された
歯科技工士の
雨松真希人さん

各連絡会、各地からの報告より

討論の冒頭、7都府県の連絡会より、この間の連絡会活動の取り組みや工夫などが報告されました。

■「歯科医療を良くする」千葉県連絡会事務局　相場康文さん

結成24年。千葉土建や新婦人などを始めとする9団体が加盟、うち医療機関は2団体。高齢者を対象に義歯などの相談を行っている。各団体からは「仕事で受診に行く時間がない」という訴えがあり、口腔内の状況も良くないことが報告されている。主な活動として、隔年で行っている請願署名とアンケート。県の社保協と合同での街頭行動や他団体の集会に講師などで参加をしている。自治体請願意見書採択は過半数まで2自治体と迫った。各連絡会で幅広い団体の加盟を呼びかける必要がある。

「保険で良い歯を」東京連絡会
世話人　小松明さん

　イイ歯デーに合わせて行う宣伝行動には毎年100名を超える参加がある。今年も浅草で行い、チラシ・ポケットティッシュ・歯ブラシなどを配布する予定。今後は、「歯科保険医療の改善を目指す活動と歯科医療の重要性や有効性を市民に分かってもらう啓蒙活動の2つの柱を広げるためにアイディアを持って取り組むことが重要」「歯科医療に関心のある市民や個人技工士が世話人会に参加してもらえるような工夫が必要」等が課題だ。

連絡会結成から十数年。予算の問題で他団体との協力があまり進んでいない。入れ歯デーに合わせた歯の供養祭を長野市善光寺で初めて開催した。地元紙にも取り上げられ、約100人分の入れ歯を供養した。歯科の保険診療の不十分な現状を改善し、いつでも保険証1枚で安心・安全な歯科医療を受けられるよう、啓発活動に取り組んでいく。

「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会
会長　鈴木信光さん

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会
会長　大藪憲治さん

　保険医協会がよい歯デーの取り組みとして行った「歯のマスコットキャラクターコンテスト」の応募作品の中から、愛知連絡会として特別賞を選んだ。キャラクターはニュースや封筒などに印刷し活用している。課題として、署名運動への参加者がなかなか増えないこと、参加団体の協力が弱く運動の広がり不十分であることが報告された。また、自治体意見書の採択が進んでいない要因として、議会の会派が複雑で微妙な力関係があり、採択に影響する会派へのアプローチが課題。

「保険で良い歯科医療を」大阪連絡会
代表世話人　戸井逸美さん

府民・患者さんへの宣伝、学習、啓発、地方自治体や議会ならびに国や国会への働きかけなどの活動を積極的に行っている。講師を呼んでの市民講座は毎年好評であり、通算1600名を超える参加者となっている。Facebookを立ち上げ、連絡会の取り組み等を紹介。SNSを利用することで賛同団体としてこれまでにない新しいつながりが広がってきた。市民の健康の発信地として活動を進めていきたい。

「患者負担軽減」「自由診療の保険導入」「診療報酬改善」をかかげ、歯科医療費の総枠拡大を患者・住民に呼びかけている。特に重視している取り組みは歯科技工問題についての改善運動。若手歯科技工士のネットワークを広げて、当事者の歯科技工士が運動の主役となるよう、歯科医師がサポートを行っている。また、市民学習会も春と秋の年2回開催し、歯の無料健康相談も合わせて行うなど、歯と口腔の健康の大切さを伝えている。歯科請願署名、自治体意見書採択などの活動にも力を入れ、診療報酬改善を実現していくよう頑張っていきたい。

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会
鈴田明彦さん

「保険でより良い歯科医療を」大分連絡会
会長　河村哲夫さん

連絡会設立後、初めに取り組んだのが「保険でより良い歯科医療の実現を」とした国へ意見書発出を県内全自治体に働きかける運動だった。2013年度にはすべての自治体で採択され、全国で初めて県内全自治体における採択となっている。その要因として、市町村数が少なかったこと、会員医師・歯科医師の協力と事務局の熱意が大きかった。議会へ請願する際には共産党を後回しにし、自民党を最優先に訪問することを心掛けた。多くの協会が都道府県連絡会を立ち上げ、この運動により積極的に取り組んでいただくことを願う。

Oさん報告（山梨県）

Oさんは、山梨県で通院されている患者さんで、昨年の「保険でよい歯科署名」活動に取り組み、勤務先やご友人など幅広いネットワークで、１千筆以上の署名を集めていただきました。また、ご自身の息子さんも「学校健診」で矯正の必要性を指摘されたことをきっかけに、市会議員に働きかけを行い、県内で初めての「矯正治療の保険拡充を求める意見書」の採択をかちとりました。

ご自身の活動の経過を中心に、患者からみた現在の歯科治療の問題点について話していただきました。

1月の署名提出集会に参加し、山梨ではまだ意見書の採択が無いことを知り、まずは自身の住む北杜市での採択を目指し、知り合いの議員と打ち合わせを重ね、全員一致で採択をされた。県知事との面談を要請し、県内全自治体での採択をめざしアプローチ中。中学校校長会でも取り上げてもらっている。国民に沿った医療費の使われ方、正しい医療政策実現に向けて今後も活動を続けていきたい。

第14回総会にメッセージを寄せていただいた国会議員

（会派別、到着順、敬称略）

- 自民党　元榮太一郎、河村健夫、土屋品子、山田修路、石井みどり、三ツ林ひろみ
- 民進党　野田国義、小川淳也、田名部匡代、升田世喜男、郡和子、川田龍平、伊藤孝恵、田島要、舟山やすえ
- 共産党　梅村さえ子、田村智子、武田良介、堀内照文、真島省三、山添拓、宮本徹、倉林明子、小池晃、赤嶺政賢、辰巳孝太郎、大平喜信、高橋千鶴子、塩川鉄也、もとむら伸子
- 自由党　青木愛
- 無所属　薬師寺みちよ